

資料から読み取った情報を簡潔に書き出し その社会的背景を考察する力の育成

～『資料の達人』の活用を通して～

特別研修員 社会 高橋悠（小学校教諭）

児童の実態

広い視野から社会的事象の意味を考えたり、調べたことに考えたことを加えて表現したりすることは難しい。

教師の願い

資料を活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てたい。

資料読み取りの虎の巻

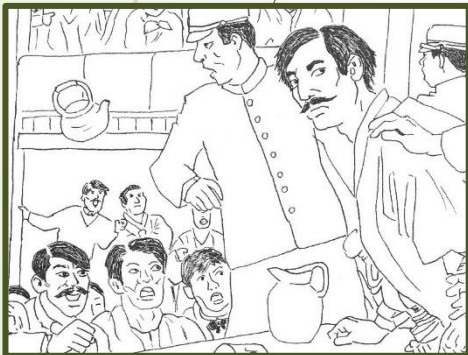
『資料の達人』で社会的背景を考察する

全三編構成「写真/イラスト編」「表/グラフ編」「地図/分布図編」

三つの「極意」で資料を考察！

- ①読み取る極意 ②書き出す極意 ③考える極意

「資料の達人」を使ってこのイラスト資料を読み取ると…



資料の達人 ～写真/イラスト編～

【読み取る極意】

- ① 人物をよく見るべし！
(服・持っているもの・乗っているもの・動きなど)
- ② 周りの様子をよく見るべし！
(建物・風景・周りにあるもの・色など)
- ③ 時代の違いを見つけるべし！
(前の時代とちがうところ・今とはちがうところ)

【書き出す極意】

- ① 右上の人物は、〇〇に乗っている。
- ② 建物の周りには〇〇がある。
- ③ △△時代にはあった、〇〇がなくなっている。
△△時代にはなかった、〇〇がある。

【考える極意】

- ① 人物をよく見たら…
 - ・この時代に人は、〇〇に乗っている人とそうでない人がいる。もしかしたら身分のちがいがあったのかもしれない。
 - ・右上の人は、もしかしたら「〇〇〇〇」と言っているのかもしれない。
- ② 周りの様子をよく見たら…
 - ・建物がへいで囲まれているから、もしかしたら〇〇〇〇かもしれない。
- ③ 時代の違いを見たら…
 - ・△△時代にはなかった、外国風の〇〇があるから、もしかしたら〇〇〇〇かもしれない。

①【読み取る極意】

資料のどこを見ればよいか分かった！

- ・人物をよく見る
- ・んだったな…
- ・周りにはどんなものがあるかな…

②【書き出す極意】

簡潔な言葉で書き出せた！

- ・右にいる警官は演説者を止めている。
- ・左下の人たちは文句を言っている。
- ・左上にやかんが飛んでいる。

③【考える極意】

- ・もしかしたら、自由に発言してはいけないのかもしれない。
- ・もしかしたら、警官に對して文句を言っているのかもしれない。
- ・もしかしたら、人々の不満がたまっているのかもしれない。

「もしかしたら」という言葉を使うことで、調べたことに考えを加えて、表現することができた！

もしかしたらという考えを出し合って…

全体で考えを共有し、友達の意見や他の資料から読み取ったこと、教科書の記述等と照らし合わせ、社会的事象に関わる部分をキーワードとしてまとめ、学習問題の解決につなげる。

社会的事象の背景やそれに関わった人物の思いについて考察することができる！！

☆成果☆

児童の9割以上は、資料から読み取ったことに自分なりの考察を書けるようになった。考察の内容も、社会的な背景や人々の思いについて踏み込んで述べたものが多くなった。

★課題★

考察した内容に誤った解釈が含まれることもある。授業のまとめとして出された意見を板書で確認しながら、教科書等の記述を基に、史実を正確に捉えられるよう気を付けなければならない。